5637 □ル

300105

5637□グレードII癌の68歳男性の膀胱から分離された膀胱癌細胞株である。 5637細胞□、SCF、IL-1、IL-6、G-CSF、GM-CSFなどの成長因子を産生・分泌する。これらのサイトカイン□機能的に活性があり、増殖因子応答性あるい □依存性の造血初代細胞や細胞株の培養のための貴重な供給源となる。

5637細胞の核型モダール染色体数□67で、59から71の範囲である。幹細胞の様式染色体数□67で36%、倍数体□0.6%。これらの細胞に共通するマーカー染色体 □3q+、11q+、i(13q)、t(9q21q)、i(17q)、i(21q)の14本である。その他のマーカー、例えばder(5)t(5;7)(q31;p11)や1p□、マイクロクロモソームやダブルミニッツ (DM)と同様に、ごく一部のサブ集団にのみ特異的に認められた。 Y染色体を1本あるい□2本含む細胞もある。

5637細胞□腫瘍形成性があり、皮下接種したヌードマウスに腫瘍を誘発することが示されている。 5637細胞の倍加時間□約24時間である。5637細胞のアイソザイム・プロファイル□、AK-1、ES-D、Me-2、PGM1のアイソフォーム1、GLO-Iのアイソフォーム1と2、G6PDのアイソフォームB、PGM3のアイソフォーム2からなる。

癌遺伝子に関して□、5637細胞□FGFR3、PIK3CA、HRAS、KRAS、NRAS、TERT、CDKN2A□陽性であるが、TP53□陰性であり、分子性膀胱癌サブタイプに属するl5637□、グレードII癌の68歳男性の膀胱から分離された膀胱癌細胞株である。 5637細胞□SCF、IL-1、IL-6、G-CSF、GM-CSFなどの成長因子を産生、分泌する。これらのサイトカイン□機能的に活性があり、増殖因子応答性あるい □依存性の造血初代細胞や細胞株の培養のための貴重な供給源となる。

5637細胞の核型モダール染色体数□67で、59から71の範囲である。幹細胞の様式染色体数□67で36%、倍数体□0.6%。これらの細胞に共通するマーカー染色体 □3q+、11q+、i(13q)、t(9q21q)、i(17q)、i(21q)の14本である。その他のマーカー、例えばder(5)t(5;7)(q31;p11)や1p□、マイクロクロモソームやダブルミニッツ (DM)と同様に、ごく一部のサブ集団にのみ特異的に認められた。 Y染色体を1本あるい□2本含む細胞もある。

5637細胞□腫瘍形成性があり、皮下接種したヌードマウスに腫瘍を誘発することが示されている。 5637細胞の倍加時間□約24時間である。5637細胞のアイソザイム・プロファイル□、AK-1、ES-D、Me-2、PGM1のアイソフォーム1、GLO-Iのアイソフォーム1と2、G6PDのアイソフォームB、PGM3のアイソフォーム2からなる。

癌遺伝子に関して□、5637細胞□FGFR3、PIK3CA、HRAS、KRAS、NRAS、TERT、CDKN2A□陽性であるが、TP53□陰性であり、分子学的膀胱癌サブタイプluminalに属する。

結論として、5637細胞□癌研究、特に成長因子、細胞分裂、癌遺伝子、膀胱癌の研究に関して貴重なツールである。

概要

□明

5637□グレードII癌の68歳男性の膀胱から分離された膀胱癌細胞株である。 5637細胞□、SCF、IL-1、IL-6、G-CSF、GM-CSFなどの成長因子を産生・分泌する。これらのサイトカイン□機能的に活性があり、増殖因子応答性あるい □依存性の造血初代細胞や細胞株の培養のための貴重な供給源となる。

5637細胞の核型モダール染色体数□67で、59から71の範囲である。幹細胞の様式染色体数□67で36%、倍数体□0.6%。これらの細胞に共通するマーカー染色体 □3q+、11q+、i(13q)、t(9q21q)、i(17q)、i(21q)の14本である。その他のマーカー、例えばder(5)t(5;7)(q31;p11)や1p□、マイクロクロモソームやダブルミニッツ (DM)と同様に、ごく一部のサブ集団にのみ特異的に認められた。 Y染色体を1本あるい□2本含む細胞もある。

5637細胞□腫瘍形成性があり、皮下接種したヌードマウスに腫瘍を誘発することが示されている。 5637細胞の倍加時間□約24時間である。5637細胞のアイソザイム・プロファイル□、AK-1、ES-D、Me-2、PGM1のアイソフォーム1、GLO-Iのアイソフォーム1と2、G6PDのアイソフォームB、PGM3のアイソフォーム2からなる。

癌遺伝子に関して□、5637細胞□FGFR3、PIK3CA、HRAS、KRAS、NRAS、TERT、CDKN2A□陽性であるが、TP53□陰性であり、分子性膀胱癌サブタイプに属するl5637□、グレードII癌の68歳男性の膀胱から分離された膀胱癌細胞株である。 5637細胞□SCF、IL-1、IL-6、G-CSF、GM-CSFなどの成長因子を産生、分泌する。これらのサイトカイン□機能的に活性があり、増殖因子応答性あるい □依存性の造血初代細胞や細胞株の培養のための貴重な供給源となる。

5637細胞の核型モダール染色体数□67で、59から71の範囲である。幹細胞の様式染色体数□67で36%、倍数体□0.6%。これらの細胞に共通するマーカー染色体 □3q+、11q+、i(13q)、t(9q21q)、i(17q)、i(21q)の14本である。その他のマーカー、例えばder(5)t(5;7)(q31;p11)や1p□、マイクロクロモソームやダブルミニッツ (DM)と同様に、ごく一部のサブ集団にのみ特異的に認められた。 Y染色体を1本あるい□2本含む細胞もある。

5637細胞□腫瘍形成性があり、皮下接種したヌードマウスに腫瘍を誘発することが示されている。 5637細胞の倍加時間□約24時間である。5637細胞のアイソザイム・プロファイル□、AK-1、ES-D、Me-2、PGM1のアイソフォーム1、GLO-Iのアイソフォーム1と2、G6PDのアイソフォームB、PGM3のアイソフォーム2からなる。

癌遺伝子に関して□、5637細胞□FGFR3、PIK3CA、HRAS、KRAS、NRAS、TERT、CDKN2A□陽性であるが、TP53□陰性であり、分子学的膀胱癌サブタイプluminalに属する。

結論として、5637細胞□癌研究、特に成長因子、細胞分裂、癌遺伝子、膀胱癌の研究に関して貴重なツールである。

ティッシュ	膀胱
病気	癌腫
転移部位	原発腫瘍の発生部位（膀胱）

用途

膀胱がんの研究；造血成長因子の産生（SCF、IL-1、IL-6、G-CSF、GM-CSF）；発がん遺伝子に関する研究（FGFR3、PIK3CA、HRAS、KRAS、TERT）； 薬剤感受性；トランスフェクション宿主；造血培養用フィーダー細胞

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype bladder carcinoma cell line

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
腫瘍形成性	□い、ヌードマウスで。
倍数性	幹細胞の染色体数□67で、全体の36％を占める。これらの細胞の0.6％に倍数性が見られる。各細胞□通常1本か、時に□2本のY染色体を持つ。

核型

表現型頻度積： 0.0056.

倍増時間	24時間

識別子

引用

5637 (Cytion カタログ番号 300105)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_0126

発現と感受性

アイソザイム

Me-2ˊ1ˊPGM3ˊ2ˊPGM1ˊ1ˊES-Dˊ1ˊAK-1ˊ1ˊGLO-1ˊ1-2ˊG6PDˊB

製品

IL-1ˊIL-6ˊG-CFSˊGM-CFSˊSCF

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640ˊw：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°Cˊ5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

継代培養

まず、接着した細胞から古い培地を取り除き、カルシウムとマグネシウムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1~5
播種密度	1×10^4細胞/cm^2で□、3日以内にコンフルエントな単層が形成される。
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、細胞を5×10^4細胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物□毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含むCM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	68年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に□、フェイスマスクまた□安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ□、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。

当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。

すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。

詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB